

平成 28 年 3 月 10 日

## クレジットの需給量推計結果について(速報)

## 1 算定について

- 平成 26 年度の排出実績が継続するとして新たに算定  
(平成 28 年 1 月 12 日時点で提出されている計画書の数値を基に算定)
- 平成 27 年 8 月に実施したアンケートを事業者の意向の判断に使用

## 2 推計結果 (前回との比較)

## (1) 第一計画期間

単位: 万 t-CO<sub>2</sub>

項目	説明	H27.6 発表	今回集計
クレジットの 需要見込量	第一計画期間の義務履行 に際してクレジットの購 入等が必要となる量	約 20~30	約 17~18
		合計 約 33	合計 約 18
		基準変更有 約 14	基準変更有 約 1
		基準変更無 約 19	基準変更無 約 17
クレジットの 発行見込量	第一計画期間中に発行さ れうるクレジットの総量	約 1000	約 1025
		超過削減量 約 953	超過削減量 約 980
		その他 約 47	その他 約 45
クレジットの 供給見込量	超過削減量の発行見込量 のうち取引の対象となる 量 (うち、積極的な販売 意向のある量)	約 127(約 52)	約 128(約 54)

## (2) 第二計画期間

項目	説明	H27.6 発表	今回集計
クレジットの 需要見込量	第二計画期間の義務履行に 際してクレジットの購入等 が必要となる量	約 75~105	約 70~75
		合計 約 103	合計 約 75
		基準変更有 約 25	基準変更有 約 5
		基準変更無 約 78	基準変更無 約 70
第一期からの バンキング見 込量	第一計画期間に義務充当さ れずにバンキングされる量 (うち、第二期自己利用量)	約 970~980 (約 25)	約 1007~1008 (約 21)
第二期超過削 減見込量	第二計画期間に新たに発生 する超過削減量	約 630	約 750
失効する第一期 クレジット見込量	有効期限経過により失効する 第一計画期間のクレジット量	約 840~880	約 910~920

(3)超過削減量の販売意向

単位：万 t-CO<sub>2</sub>

意向 時期	積極的 販売	要請が あれば	価格 次第	販売す る意向 はない	未定	その他	総計
既に実績あり	6	37			4	1	48
2015 年度に	27	23	6				56
2016 年 4 月～2016 年 9 月	21	1	2				24
バンキングし、第二期 の義務履行が確実に なってから	16	37	15		68	31	167
未定	19	57	3	49	213	3	344
総計	89	155	26	49	285	35	639

「第一計画期間（整理期間）中に」「積極的に」販売するとされたのは 54 万 t-CO<sub>2</sub>  
(H27.11 排出量取引セミナー発表では 52 万 t-CO<sub>2</sub>)

第一計画期間超過削減量の発行見込量のうち  
第一計画期間整理期間中に取引の対象となる量（128 万 t-CO<sub>2</sub>）  
(H27.11 排出量取引セミナー発表では 127 万 t-CO<sub>2</sub>)